

宮城県加美農業高等学校

志教育の視点	<input checked="" type="checkbox"/> かかわる ・ <input checked="" type="checkbox"/> もとめる ・ <input checked="" type="checkbox"/> はたす
--------	---

活動名	色麻学園志教育連携事業
教科・領域等	畜産 総合実習 課題研究
活動学年等	3年（農業科畜産専攻）2年（農業科畜産専攻）
ねらい	自分達の学んでいることを活かし、地域社会に関わりながら以下のことをねらいとする。 (1) 小学生との関わりを通して目線を合わせた説明、コミュニケーション能力を高める。 【人と「かかわる」】 (2) 実習で学んだことを、連携活動の場で目線を合わせ教えることでより深い学びを得る。 【よりよい生き方を「もとめる」】 (3) 連携交流活動を通しての内容を企画、リハーサル、実践、反省をとおして主体的に行動する力、実行力、協働する力を高めながら社会により貢献ができる人材を育成する。 【社会での役割を「はたす」】
概要	「色麻学園志教育連携事業」の一貫で、小学2年生の総合的な学習の時間の取り組みで、加美農の乳牛や和牛について知ることや触れることで、家畜の一生や生き物の尊さを知ってもらう取り組み。 ① 小学生に牛の一生について説明。 ② 小学生と牛の散歩について説明および補助。 ③ 牛の餌やり体験の説明および補助。

【実践内容】

[令和6年度 交流活動で行った主な実施内容]

日時	名称等	対象	実施内容と成果等
令和6年 11月19日	牛の一生について説明	色麻学園 小学2年	<p>小学生にわかりやすく、簡潔に工夫しながら説明をしました。説明だけでなく、クイズ方式での説明では楽しそうに聞いている姿も見られました。小学生の中には家で牛を育てている児童もおり、真剣に和やかな雰囲気を聞いていました。</p>  <p>「生まれたての牛の体重はどれくらい？」という問題では、いろいろな答えが飛び交い、「40kgくらい、みんなと同じくらいかな」と話すと驚いている様子が伺えました。高校生の話に集中して聞いている様子が見えました。</p>
令和6年 11月19日	牛の散歩	色麻学園 小学2年	<p>牛の散歩では、子牛の引き方や注意事項について説明した後に、実際にロープを持って散歩を行いました。初めての体験で怖がって、早足になってしまう児童に、優しく声をかけ、散歩をしながら牛のクイズをするなど工夫しながら、体験を行っていた。</p> 

			<p>体験を終えると児童は、晴れやかな表情で牛にふれ、温かみを感じている様子が伺えた。</p>
<p>令和6年 11月19日</p>	<p>餌やり体験</p>	<p>色麻学園 小学2年</p>	<p>餌やり体験では、牛とのふれあいにも慣れたことから、実際に搾乳しているジャージー種とホルスタイン種への餌やりを体験した。児童は積極的に餌やりやふれあい体験を行っていた。中にはその辺に自生している草をあげようとしている児童もいたことで、優しく注意をしている様子があった。最後に今回の体験で感じたことを話してもらい「牛が温かかった」「思っていたよりも大きいけれどやさしい」「近くで見るとかわいい」「手を舐められて舌がざらざらしていた」など沢山の感想を話してくれた。</p> <div data-bbox="667 472 1040 752" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1056 472 1437 752" data-label="Image"> </div> <p>この体験に関する準備は、生徒が主体的に考え行った。1週間ほど前には「酪農教育ファーム」で松森東小学校の児童でも同じような内容で体験したが、その時の反省を生かし工夫した内容で体験をすることができた。今後も主体的に取り組むことで地域連携・貢献、社会性を身につけさせていきたい。</p>